

## 佐々木浩子先生を偲ぶ会

佐々木先生を偲ぶ会は感謝会となりました。会員総会后、駆けつけて下さった皆様と感謝を分かち合った時間は、佐々木先生と過ごした穏やかで温かな時を思い起こさせてくれました。思い出話の中から、時に聡明な厳しい発言をされる凛とした先生の姿が目には浮かびました。また、各々が思い出を語る中、誰もが自分が一番お世話になったと感じていたと気づきました。人は最初の教育に戻ると言います。「他者に大切にされた人は他者を大切にできる存在になる」佐々木先生に見守られ、育てられた私達は先生の教えの実践者として生きることによって先生がこれからも生き続けていくと確信した時間でした。



(えび)

### 『佐々木先生へのメッセージ』

- ・進路に迷っていた時優しく導いてくださいました。今の福祉観と私があるのは先生のおかげです。
- ・暖かく愛のある包容力で見守ってくださいました。感謝を胸に持ち続けます。
- ・介護福祉士養成教育研究会で大変お世話になり、先生の大きな傘の下で私たちは自由に学ばせて頂きました。
- ・1983年佐々木先生と私の恩師である吉田久一先生が引き合わせてくれました。「この人は天性のグループワーカーだから」と。長い間上司として、人生の先輩としてその後の私の人生にも先生の存在は大きなものでした。



佐々木先生を中心に、右から池田先生、土岐先生、新田先生、教務室にて

### ご寄付のお礼 皆様のご支援により支えられています。

2021年8月～2022年7月にご寄付いただいた皆様（敬称略・順不同）

宮本久子・岡部卓・鍋田都・日向野明子・加藤さき子・生野のぞみ・米田直子・新田和子・田島誠一  
西岡修・近藤真里子・石井須美子

感謝をもってご報告申し上げます。

### 会費・寄付金等振込先

年会費：正会員 3,000円/年 賛助会員 一口 10,000円/年 団体会員 20,000円/年

◆株式会社 ゆうちょう銀行 記号 10170 番号 80995501

◆三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

口座名義 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行所 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行人：石井須美子 編集人：長尾恵理子 大庭 幸

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号東京YWCA会館216室

TEL・FAX 03-6273-7134

HP <http://ywca-hssc.org/> [東京YWCAヒューマン] で検索

2022年8月22日～26日 夏季休暇をいただきます。

編集後記： 浩子先生は読書がお好きでしたが、療養中「若草物語」や「赤毛のアン」を読まれていたそうです。少女達が生き生きと成長していく物語をこの夏休み久しぶり読んでみましょうか。(Y.O)



# 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

## 会報

見守り

支え

伝え合う

私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します

24号  
2022年7月

特定非営利活動法人

年次総会を終えて

東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター理事長 田島 誠一

会員・支援者の皆さま、日ごろから法人の運営を支えていただきありがとうございます。去る6月24日会員総会を開催しました。

第一号議案「2021年度事業報告・収支決算について」第二号議案「2022年度事業計画案・収支予算案について」第三号議案「理事監事の選任」を審議し、満場一致で承認されました。

2020年度に引き続き新型コロナウイルスの影響は続きましたが、研修事業は前年度より143万円の増と2年連続の増収となりました。東京都保育士等キャリアアップ研修は12回実施し修了者は201名でした。研修に際しては抗原検査の実施等感染を防ぐ措置を行い、安全に実施することができました。

研修事業は、法人の理念「対人援助の仕事にかかわる人たちの成長を支援し、福祉・介護の仕事のゆたかさを広め、利用者へのより質の高い支援の実践が広がることを目指す」を実現するための中心となる事業です。前進できたことを感謝したいと思います。

今後は、講師派遣事業の質と量を充実させ「人を育てる」事業の発展に注力していきます。保育士等キャリアアップ研修は、期限のある事業です。また2022年度は受託事業者が増加し、オンライン研修が殆どを占めて、対面で行う私たちの研修は「集客」に困難を生じつつあります。昨年に引き続き、コロナ収束後の法人連携研修なども含め、法人・施設等への働きかけを強化していきます。「福祉のしゃべり場」など研修事業以外でも、『ともにある』ことを大切に、継続し取り組んでいます。

また、愛恵福祉支援財団様からの助成をいただき、事務用パソコンを更新しました。このような働きの結果、2021年度は収益計2,160万円に対して費用計が2,131万円、収支差額は28万円となりました。2022年度も安定した事業運営・法人経営を目指します。

## 2021年度 事業報告 (2021年4月1日から2022年3月31日)

### I. 事業に関する事項

法人の掲げる理念・使命の実現に向けて高齢者、障害者、子ども福祉を含めた事業を実施し、11年間実績を重ねてきた。

#### 1. 講師派遣研修 2021年度は、下記の通り1回2~3時間の研修8件。6時間以上の研修6法人で、9コース実施。特別区人

講師派遣法人・事業所	研修内容・実施状況
1 特別区人事・厚生事務組合	心理巡回指導 (別表参照)
2 愛隣会	新人研修 (10回)
3 白十字会20年度に契約した 21/4~21/9	リーダー研修・中堅研修 (各4回)
4 白十字会	SV研修・新人研修 (各10回)
5 台東区社会福祉事業団	SV研修 (5回)
6 大田区社協	コンサルタント (12回)
7 大田区社協	中堅研修 (1回)
8 宏人会 (青森) キラキラ保育園	マネジメント研修 (1回6時間)
9 東京YWCAわいわい学童クラブ	マネジメント研修 コミュニケーション (各1回)
10 日本YWCA	自己理解・他者理解 ハラスメント研修 (各1回)
11 大洋社	キャリアアップとリーダー研修 (2回) 人事面接のポイント (1回)
12 大和ハウス	虐待・拘束防止 (1回)
13 ナオミの会	管理職研修 (2日間連続12時間)

事厚生事務組合 (子供支援事業)、心理巡回指導を46回行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による研修ができず、オンライン研修を実施し、感染状況を踏まえ柔軟な対応を重ねて研修の継続に尽力した。また、オンラインであっても「一方的な研修に終わらない双方向のコミュニケーション」を念頭に、ブレイクアウトルームを有効活用し、受講者同士の意見交換を進めることで、学びが深まるよう工夫した。

#### 2. 講座 講習

「東京都保育士等キャリアアップ研修」を計画の通り12回実施。修了者数201名。三密回避のため研修会場、研修人数の検討。受講者、関係者の研修全日、抗原検査実施。マイクロ飛沫の感染予防等対策を講じた。また、東京オリンピックの開催時期を避け9月以降開催としたが、第5波、第6波と続き1月2月には、保育園の休園が広がり受講のキャンセルも重なった。先の見えない中、安心して受講できる環境を整備し、万全

の態勢で臨んだ。アンケートでは、集合研修で不安はあったが安心して受講できた。集合研修で、学びが深まった等評価された。

#### 3. 福祉啓発事業 「福祉のしゃべり場」 3回開催 オンライン (zoomでの開催)

1回目5月15日 (土) 参加者10名 2回目9月25日 (土) 9名 3回目2022年1月15日 (土) 6名

#### 4. 会員活動: 6月26日「西山健治さんをしのぶ会」14:00~16:00 集合 (6名) とオンライン (3名) 参加

#### 5. 広報: 1) 会報: 22号200部 23号200部発行。 2) HPの活用: 情報公開を進めた。

### II. 運営に関する事項

#### 1. 会員総会 2021年6月19日 (土) 14:00~15:30 (オンライン開催) 2. 理事会 年3回実施

#### 3. 会員 2022年3月31日現在 正会員 個人: 76名 団体: 2 賛助会員: 8名

#### 4. 事務局体制 理事長: 田島 誠一 事務局長: 非常勤 事務: 専任1名 非常勤1名

## 2022年度 事業計画 (2022年4月1日から2023年3月31日)

### I. 事業に関する事項

#### 1. 講師派遣事業

福祉職は、これまで高齢者、障がい者、母子、生活困窮者の命と生活を支え常に第一線に立ち続けてきた専門家である。彼ら自身が、命と生活を守る仕事に誇りと自信を持ち、専門性を高める努力を常に続けることを応援していく。そのために我々は、これまで以上に職員一人ひとりが自ら考え、現場で生じている課題を解決し、豊かな生活を創造するために、必要な知識と技術を提供し学びあう中で、自信と信頼を高めていく機会の提供に尽力したい。

コロナ渦で、停滞している法人職員の研修を進めるため、これまでつながりのある法人を中心に、新規契約の獲得を目指す。

#### 2. 講座 講習

東京都保育士等キャリアアップ研修は、5年目となる。受講者数の減少とは逆行し、委託事業所の増加やオンライン研修の拡大により、買い手市場に転じた今年度。集客の難しさ、今後の在り方も含め協議しながら可能性を模索していく。

#### 3. 福祉啓発事業 「福祉のしゃべり場」 年3回 オンラインと集合にて、着実に開催する。

#### 4. 会員活動: 会員総会後に開催。佐々木浩子先生の訃報を受け、追悼の思いを込めて、「感謝の会」を行う。15名参加。

#### 5. 広報 1) 会報の発行 年2回 各200部 2) HPの活用

### II. 運営に関する事項 1. 会員総会: 年1回 2. 理事会: 年3回 3. 会員: 会員の数値目標 正会員 個人80名

#### 4. 事務局体制: 理事長 田島誠一 事務局長: 専任 事務: 専任1名 非常勤1名

総会では、2022年度から2年間勤めていただく役員を選出し、承認をされました。

理事 石井須美子・蛭原まゆみ・遠藤久江・☆桑原美佳・田島誠一・長尾恵理子・西岡 修

監事 ☆尾崎裕美子・近藤真里子 (☆印新任)

法人開設当初よりお力をいただき、10年間運営に尽力してくださった、

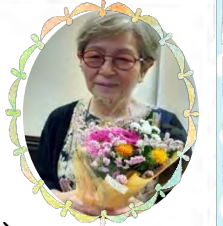
理事の大井妙子さん、監事の戸田朱美さんが退任されました。お二人には、心より感謝申し上げます。

### 退任

理事退任ご挨拶 大井妙子さん

理事を退任するにあたり、改めて東京YWCA 専門学校に学べた事に深く感謝を覚えます。

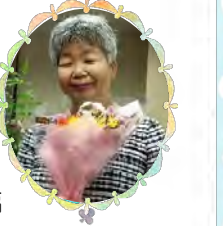
55歳で入学した私は卒業の翌年、区立小学校の中で、高齢者デイサービスセンターの責任者になりました。介護保険のスタートの年であり、公立小学校の中でNPO法人を設立して事業を開始するモデルはどこにも無く、文字通り手探りの連続でした。私の拠り所になったのはYWCA 専門学校での学びでした。「人間の尊厳とは、福祉、コミュニケーション、スーパービジョン、施設の社会化とは」などと、それらは目から鱗であり、心の深い所での納得でした。母校が開校するという知らせを聞いた時は心細く残念な思いでした。帰れる所がなくなるような。そんな時、理事就任のお話があり少しでもお役に立ちたいとお引き受けしました。何もお役に立たないどころか、遠藤先生はじめ皆様から学ぶ事の方が多く随分、支えて頂きました。有り難うございました。これからも福祉人として現実と向き合い、人間の尊厳を守る仕事を深めてまいりたいと思っております。いつもNPOのご活躍と発展をお祈りしています。そして時々、私のホームに還らせていただきます。



監事退任ご挨拶 戸田朱美さん

卒業生が気楽に立ち寄れる場所となり、現場の職員を支えたいとの想いから始まった

ヒューマンサービスサポートセンターです。当初は3年続くだらうかと不安ばかりでした。今では、運営面でも経済面でも充実さを増している状況となり感慨深いです。理事の方々の知恵、見識、叱咤激励に事務スタッフも応えてきたことの賜物と思います。理事会は、領域の異なる諸先輩方の実践に基づいた幅広い意見が飛び交い、ついていけない時もありましたが、多くの学びがありました。その一つが、新たに動き出すには常態時代のニーズに敏感で、変化を受け止めて考える柔軟な思考が必要ということでした。



この7月に岩波ホールが閉館します。神保町の景色も少しずつ変わるのでしょう。サポートセンターがこれからも世の中の変化とともに、進化していくことを応援したいと思います。最後になりましたが、今までお支え頂きました理事・事務局の皆様的心から感謝いたします。

### 就任

理事就任ご挨拶 桑原美佳さん

幽霊部員のようにひっそり会員でいるのがよかったのですが、今回理事に選ばれました。桑原美佳です。

Yでは介護だけではなく福祉を学びました。

現場でいろいろな「障がい者」といわれる方々と接してきました。プライベートでは2人の子育てに奮闘しました。気づかないうちに社会がつくっている「障害(障壁)」にぶつかっている人はたくさんいるのではないかと思います。福祉は特別なことではない。「障害」は特別なことではない。

人を支える人を「ひと」として支えたい、私の想いとYの福祉の教育をもう一度学びたいと思います。

監事就任ご挨拶 尾崎由美子さん

東京YWCAを経て、日本YWCAで勤務していましたので、HSSCはいわばお隣さん。

講座等が東京YWCA会館で開かれている様子を、いつも横目で見ながら心の中で応援していました。東京YWCA 専門学校時代からのYWCAが大切にしてきた教育の理念を引き継いだHSSC。これからの展開に大いに期待しつつ、このたび、監事としてご一緒できることをとても嬉しく思っています。どうぞよろしく、お願いいたします。

